

ウォッチガード、MSP の防御力を強化するため、先端 AI でマルチモデル対応を開始

OpenAI の「Daybreak」プログラムおよび Anthropic の「Cyber Verification Program」に参加することで、脆弱性調査、セキュリティテスト、および脅威に対する予防的な防御を促進

2026 年 10 月 23 日（金） - 企業向け統合型サイバーセキュリティソリューション（ネットワークセキュリティ／アイデンティティセキュリティ／エンドポイントセキュリティ）のグローバルリーダーである WatchGuard (R) Technologies の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、日本法人社長 大野 欽司、以下ウォッチガード）は、アプリケーションセキュリティ分野における最先端の AI への新たな投資を発表し、OpenAI および Anthropic の両社による高度な機能へのアクセスを拡大しました。単一の AI エコシステムに依存するベンダーとは異なり、ウォッチガードは、サイバー防衛において最も効果的な AI イノベーションを継続的に評価・採用し、実運化を目的としたマルチモデル戦略を推進しています。

攻撃者が AI を活用して偵察の自動化、攻撃経路の特定、エクスプロイト開発の加速を進める中、ウォッチガードも同様の技術に投資し、脆弱性の発見、セキュリティテスト、脅威調査、および対策の強化に取り組んでいます。OpenAI の「Daybreak」プログラムおよび Anthropic の「Cyber Verification Program」を通じて、ウォッチガードのセキュリティチームは、サイバーセキュリティのユースケース向けに設計された高度な AI 機能を利用することができます。

ウォッチガードのセキュリティオペレーション担当ディレクタ、マーク・ラリベルテ（Marc Laliberte）は次のようにコメントしています。「AI は、防御側と攻撃側の双方にとって、サイバーセキュリティのあり方を根本から変えつつあります。サイバー犯罪者たちはすでに、これらの技術を利用して脆弱性を突き止め、攻撃を加速させています。私たちの責任は、防御側も同様にこうした強力な機能を確実に活用できるようにすることです。」

ウォッチガードは、製品のセキュリティテスト、侵入テスト、レッドチーム活動、脅威調査、脆弱性対策など、幅広いセキュリティ機能にこれらの機能を統合しています。複数の主要プロバイダーが提供する最先端の AI を実用化することで、同社は新興技術を迅速に評価し、防御上の価値が最も高まる分野に適用することが可能となります。

現在、25,000 社以上の MSP およびセキュリティパートナーが、ウォッチガードのソリューションを活用し、世界中で 150 万社以上の企業のセキュリティを支援しています。これらの組織は、AI の影響をますます強く受ける脅威の状況に合わせて、セキュリティプロバイダーが絶えず進化していくことを期待しています。

ウォッチガードの CEO、Joe Smolarski（ジョー・スモラルスキー）は以下のように述べています。「サイバーセキュリティの未来は、単一の AI モデルだけで築かれるものではありません。だからこそ、私たちは最先端の AI エコシステム全体に積極的に投資し、各チームが複数のプロバイダーが提供する高度な機能を利用できるようにしています。これらの技術が進化するにつれ、パートナーやお客様が今後の動向に先んじて対応できるよう支援するイノベーションを、引き続き評価・導入し、実用化していきます。」

詳細はウォッチガードの [Web サイト](#)（英語）をご覧ください。

<https://www.watchguard.com/wgrd-news/blog/why-watchguard-investing-across-frontier-ai-ecosystem>

*本資料は、本社が発表したプレスリリースの翻訳版です。

【WatchGuard Technologies について】

ウォッチガードは、マネージドサービスプロバイダー（MSP）向けに設計された統合型サイバーセキュリティ分野におけるグローバルリーダーです。30 年以上にわたり、MSP が大規模なセキュリティ対策を提供する方法を確立し、脅威情勢のあらゆる大きな変化に先んじるべく、絶えず革新を続けてきました。AI を活用した「Unified Security Platform（R）」により、ゼロトラストに対応したネットワーク、エンドポイント、アイデンティティ保護機能を単一の統合プラットフォームで提供し、複雑な運用の軽減、対策成果の向上、ビジネスの効率的な成長を可能にします。世界中で 150 万社以上の顧客を保護する 25,000 社以上の MSP に利用されており、パートナーが世界中の顧客に対して、強力かつ測定可能なセキュリティの成果を提供できるよう支援しています。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は X（@WatchGuardJapan）、Facebook（@WatchGuard.jp）、をフォローして下さい。

X：<https://twitter.com/WatchGuardJapan>

Facebook：<https://www.facebook.com/watchguard.jp>

また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法は SecplicityJP までアクセスして下さい。

SecplicityJP：<https://www.watchguard.co.jp/security-news>

WatchGuard は、WatchGuard Technologies, Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階

マーケティング担当

Tel：03-5797-7205 Fax：03-5797-7207

Email：jpnsales@watchguard.com

URL：<https://www.watchguard.co.jp>